

お知らせ

愛知県の県営住宅入居者等の個人情報の漏えい疑いについて

(愛知県住宅供給公社になりすましたメールについて<続報 2>)

2022. 2. 18

令和4年2月3日以降、当公社をかたる迷惑メールが、県営住宅の入居者等あてに届いているとの電話連絡が、2月10日までに公社及び県に対して221件（県営住宅入居者3件含む）ありました。（11日以降、問い合わせはありません。）

また、公社とメールのやり取りのあった入居者等について、2月18日までに555件（県営住宅入居者11件含む）の方に対して、公社から主に電話により注意喚起を実施してまいりました。

なりすましメールの特徴は、発信名が「愛知県住宅供給公社」や実在の「職員氏名」が表示され、一見すると公社から発信したものと誤認しやすい内容となっていますが、本来とは異なるメールアドレスで送られてきます。

（次ページ「なりすましメール例」参照）

少しでも違和感のあるメールを受信された場合は、公社へ問い合わせさせていただき、削除していただきますようお願いいたします。

このようなメールを受信された皆様には多大なるご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

今後、システムセキュリティの更なる強化とともに、職員一人一人の情報セキュリティ意識の一層の向上を図り、再発防止の徹底に努めてまいります。

お問い合わせ先

総務企画課 総務・人事グループ

電話 052-954-1340

〈なりすましメールの例〉

件名：RE：住宅管理について
送信元：愛知県住宅供給公社（****@****）

ご確認をお願いします。

よろしくをお願いします。

一見すると本物らしい「件名」や「送信元」となっているが、メールアドレスは公社の本来のアドレスと異なる。

（本来のアドレスは****@aichi-kousha.or.jp）

愛知県住宅供給公社

TEL *** - *** - **** Fax *** - *** - ****

Mobile *** - *** - ****

Mail ****@aichi-kousha.or.jp

添付ファイル：「エクセル」

実在する「送信元（署名）」であり、「メールアドレス」も正しいものとなっているが、「電話番号」「ファックス番号」は実際と異なる。

エクセルのほかワードやZIPファイルが添付されている。